

行財政・一般

新庁舎建設について



水上 亨 議員

新庁舎建設基本計画(案)での概算事業費は、用地費を含めずに125億円と算出されているが、庁舎建設地としているポート第5駐車場は競艇企業局の企業会計管理の行政財産である。市は用地の評価額を基に土地の価格を算出し、一般会計により購入しなければならないが、土地の平米単価はいくらか。用地取得費を概算事業費に計上し市民に公表すべきではないか。

答

市庁舎建設については、新たに土地の取得費用がかからないことを前提に、ポート第5駐車場を選定した。土地の単価については、周辺の路線価から算定すると、2万7,000円/㎡となり、これに面積を掛けた金額が実勢の価格の目安になると思われる。しかし、取得方法に関しては、土地の譲渡や交換等さまざまな手法が考えられるため、現在、市長部局と競艇企業局で協議を行っている。

行財政・一般

市庁舎建設について



朝長 英美 議員

市内に分散している庁舎を集約し、ワンストップサービスを目指すとしているが、例えば上下水道局は現在地のほうが便利との市民の声もあり、逆に市民サービスの低下につながりかねない。仮に上下水道局を新庁舎に集約しない場合、新庁舎の建設費はどれくらい違うのか。また、中心市街地複合ビル(旧浜屋)にかける全ての予算はいくらか。

答

現在、庁舎の分散化によって、市民の利便性及び職員の事務効率の低下という状況を招いており、市民からさまざまな苦情を受けている。このような状況を踏まえ、基本的には庁舎の集約を行いたい。また、新庁舎から上下水道局を外した場合の建設費は、単純に職員数で換算すると、10%程度下がる。また、中心市街地複合ビルにかかる予算は、土地建物取得や改修工事、駐車場整備の費用等で合計13億4,000万円である。

行財政・一般

125億円の庁舎建設は白紙撤回を



村上 信行 議員

当初、庁舎建設費を80億円と予定していたが、本年4月の基本計画策定の中間報告において、125億円と大幅に増額された。この基本計画(案)は白紙撤回し再検討すべきである。また、上下水道局やこども未来部、長寿介護課、障がい福祉課の新庁舎への集約化や、スペースが不十分な職員駐車場の計画も再検討すべきであるが、どのように考えているのか。

答

建設費80億円については、新庁舎建設に関する協議のための検討材料、本体の建設費の目安として平成25年に試算したものであり、その旨説明してきた。また、5月に開催した市民説明会においてはさまざまな意見を頂いたことから、現在、基本計画(案)の見直しを行っている。職員の駐車場については、今後、検討していきたい。

行財政・一般

新庁舎建設の基本計画は凍結し見直すべき



山北 正久 議員

新庁舎建設基本計画(案)の市民説明会では、建設費の大幅な増額や交付税措置の減額等、これまで市が説明してきた条件が大きく変わったことへの不信感や、建設場所を含めてゼロベースで検討するべきだとの意見が出ており、全く同感である。基本計画を凍結し、場所については「住民投票」を実施して決定すべきであるが、どう考えているか。

答

市民説明会では、312名の参加者から139件の意見があった。そのうち、ゼロベースで見直すべきという意見、建設場所や事業費の縮減に関する意見は40件、全体の2割強であり、割合として多かったとは考えていないため、現在の新庁舎建設基本計画(案)の見直しを進めていきたい。

